

保育実践(運動遊び)

研究会



5月27日

初回の研究会では、講師の先生の講義「心と体の健やかな成長のために保育・幼児教育の現場で大切にすべきこと」の後、スタジオに移動し、身体を動かしました。初めましての方同士、少し緊張しながらも、くま歩きやクモ歩きで出会った人と簡単な自己紹介をしたり、2人組や8人組になってグループで力を合わせて様々な動きに取り組んだりして、たくさん身体を動かしました。

5月28日

今年度のインクルーシブ保育研究会は、中堅以上が初任者のファシリテーターとなり、研究会を進めていきます。初回の研究会では、講師の先生の講義を聴き、前半は、中堅以上(10年目以上)と初任者(2~5年目)のクラスごと、後半は、中堅以上・初任者が2~3人で1グループになり、『子どもの「なぜ」を考える』『子どもの姿を共有する』等のワークをしました。

インクルーシブ保育

研究会



たとえば…

- 他の子どもが使っているおもちゃを奪い取る
- 自分のやりたい活動でないと泣きわめいて嫌がる
- お散歩のときに、手をふり払って道路に走っていきこうとする
- 給食の備食がひどく、白ご飯以外はまったく食べない

